

# 船坂新聞

ホームページ <http://funasakashinbun.news.cocan.jp/>

2012.2.11 第41号

発行：船坂新聞倶楽部

問い合わせメールアドレス funasaka.moriagetai@gmail.com

## 第1回ビエンナーレ役員会で

10月21日(日)～11月25日(日)開催を原案に

1月29日(日)午後、第1回ビエンナーレ役員会が旧船坂小ランチルームで、開催されました。

役員会では、今年のビエンナーレについての原案の素案を多項目にわたって協議しました。今後も関係者と調整しながら、原案を調整していく予定です。

4月頃には、推進委員会全体会を開催し、役員会で調整した原案を提案し、開催内容を決定する予定です。

今後とも準備の動向は、船坂新聞でお知らせします。



以下は、1月29日に協議された原案素案の概略です。

● ビエンナーレは、地域諸団体・グループが行っている様々なまちづくり活動・地域活性化活動の「きっかけづくりを担うこと」を目的とする。

○ オープニングセレモニーを、10月20日(土)に旧船坂小体育館で予定する。

○ 開催期間は、10月21日(日)～11月25日(日)を予定する。

○ 定休日は、毎週月・火曜日及び11月23日(秋祭)を予定する。

※船坂秋祭りの盛り上げに協力し、地域外転居若者の秋祭参加促進にも寄与したい。

○ 開催時間は、午前10時から午後4時までを予定する。

○ 展示場所は、次の場所を候補とし、今後、所有者等に場所提供を依頼する。また、「ここに展示してほしい」など、船坂の人たちから展示場所の希望も受け付けたい。

### 1、屋内展示

・旧船坂小学校木造校舎 ・桂山荘の一部[新] ・かやぶき古民家 ・空き民家

### 2、屋外展示

・休耕地 ・空き倉庫 ・その他

○ 船坂在住又は船坂ゆかりの作家展(趣味の作品展含む)も並行して行う。

○ 期間中の船坂物産販売や昼食提供などは、前回以上に地域の人たちの力を結集したい。

Kawahara Kobo



株式会社河原工房  
〒569-0823 大阪府高槻市芝生町3-2-1  
TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587  
URL <http://www.omoikatachini.jp>  
e-mail [info@omoikatachini.jp](mailto:info@omoikatachini.jp)



Kobako Vege  
こばこベジ

〒662-0978 西宮市産所町3-24  
OKKO陶芸工房2F  
TEL&FAX 0798-26-3618  
e-mail [kobako.design831@gmail.com](mailto:kobako.design831@gmail.com)



セブン-イレブン

西宮船坂店

〒651-1423 西宮市山口町船坂419  
電話 078(903)1090



## 老人クラブ新年会 見事なハーモニカ演奏を満喫

老人クラブ新年会が1月17日（火）船坂公会堂で行われ、約60人の会員が出席して行われました。

乾杯のあと、今年6月で満100歳を迎えられる尾崎さんの詩吟披露もあり、例年以上に男性会員の参加が多く、にぎやかで楽しい新年会となりました。

恒例のビンゴに替って、今年是小東さん（元山口支所職員）の奏でる見事なハーモニカ演奏を満喫しました。（池田壺和）

画像削除

## 3月3日は公民館講座「お笑いの集い」へどうぞ

山口公民館講座「お笑いの集い」が公会堂で開催されます。喫茶（無料）タイムもあります。どなたでも参加OKです。大勢の方のご参加をお待ちしております。

なお、喫茶の準備もありますので、なるべく事前に申し込みをお願いします。

（申し込み先：上中道子 TEL：904-2448）

とき 3月3日（土）午後1時～3時30分

ところ 船坂公会堂2階大広間

出演 関西学院大学落語研究会の5名

参加費 無料（定員40名）



趣味の作品展（1月23日～3月2日）

## 善照学園子どもたちの作品展

第7回趣味の作品展は、善照学園の子どもたちの作品展です。鈴木貴博さん（ビエンナーレ参加作家：月2回学園で絵画教室ボランティア）の指導で、子どもたちが大作を創りました。大きな紙に伸び伸びと描いた絵画や、扇風機をまわすと龍が大きく膨らむ作品など、とても見ごたえのある作品が並んでいます。どうぞご鑑賞を！



展示作品と鈴木貴博さん

期間 1月23日（月）～3月2日（金） 平日の午前10時～午後3時  
場所 JAふれあい会館



株式会社 加登

〒651-1423 西宮市山口町船坂710-4  
TEL:078(904)3843 FAX:078(904)0169  
<http://www.forever-kato.co.jp>



株式会社 古材問屋

651-1423 兵庫県西宮市山口町船坂28C  
Tel:078-903-5314 Fax:078-903-5319  
<http://www.kozaidonya.com>

Daddys Bakery



〒651-1423西宮市山口町船坂90  
TEL:078-907-3920

## 船坂とまちづくり・活性化 よもやま話

### 船坂に住むきっかけは Alice での食事

船坂に住まわれて約1年半の山泰幸さん（今年の新聞1月号掲載の新生児、山智幸くんのお父さん）が、大学でまちづくりの研究に携わっているとお聞きしました。いつも「記事のネタがどっかに落ちてへんかな？」と探してる船坂新聞がこのネタを見逃すはずがありません。船坂も大いに関係する「まちづくり」について、さっそくお話をお聞きいたしました。 ※以下、山) =山さん。新) =船坂新聞



関西学院大学：山 泰幸准教授

新) まずは船坂に住もうと思われた理由と、実際の住み心地について聞かせてください。

山) そもそも民俗学を専門にしているので、自然の多い田舎の暮らし・文化・風景に憧れがありました。それまで船坂は車で通過するだけでしたが、5年前にレストラン Alice で食事する機会があり、良いところだなと思って散歩がてら何度か船坂を訪ねるようになったんです。学生のころから民話等を研究していたので樹がうっそうとした雰囲気が好きで古民家があるのも印象深かったです。そのうちに条件にあう物件が見つかったので住むことを決意しました。子供がいるので通学の面は気になりましたが、車の送り迎えは出来ると割り切って考えました。

新) 実際に住んでみて、船坂の暮らしはいかがですか。

山) 入居が夏だったので船坂の涼しさ、特に夜は嬉しかったです。クワガタ虫が飛んで来たりして、子どもたちも喜んでいました。不便さはありますが、車があるので買い物や通勤に特に支障は感じていません。冬になって雪でバスが動かなくなったというのは信じられませんでした（笑）。予想以上に寒さは厳しいなと感じました。

新) 民俗学の想いから船坂に暮らし始めた山さんですが、現在、関西学院大学の「観光学・まちづくり研究センター」の所長を勤められています。「観光学・まちづくり」という言葉にはあまり馴染みがないのですが、内容について少しご説明いただけますか。

山) 「まちづくり」という時にはいろんな考え方があると思うんですが、私は人口減少で地域の社会規模が小さくなってきた時にどんな現象が起きるのか、に一番の関心があります。野球チームにたとえると、9人以上になれば補欠や2軍を設ければ対応できますが、7人しかいなくなると試合はできません。しかし、地域社会は野球ではないので、7人になっても何とか試合をしないとイケません。観光を活かしたまちづくりは、わかりやすくいえば、外から見に来たり交流しに来たりして、一時的に増える他所の地区人口をあわせながら野球の試合（まちづくり）を継続するという事です。それによってどのような現象が起きるのか、その現象への対応策は何か、また急な変化で地域社会が壊れないようにしながら次の段階に繋げるにはどうすればいいか、等が研究センター全体のテーマで、実際に各地で調査研究をしています。

### まちづくりに大切なのは「人」

新) 船坂ではビエンナーレなどのまちづくり活動がありますが、それに対しての印象はありますか。

山) 各地の活動を数多く見ているので、「ああ。船坂もまちづくりの動きがあるんだな」という印象でした。船坂のまちづくり活動には好い印象を持っていますし、学問的にも関心を持っています。まだ詳しいことはわかりませんが、まちづくりの活動の多くは活動しようという強い意欲のある「人」が必ずいます。そういう「人」がいなくなると続かない場合がほとんどです。そういう「人」がいることが大事ですね。

新) 船坂は子供が減少していて、今後も恐らく若年層は帰ってこなくて高齢化が進むと思われます。観光学で地域に住まない外から来られた昼間だけの人たちの役割は何でしょうか。観光は温泉・店など商業への効果で終わってしまう印象があり、各年齢層がバランスよく住んでまちが継続していけるように定住

人口が増えるとは考えにくのですが。

山) どのまちづくりでも、定着する人が増えて子どもたちが育って定住人口が増えていくことが一番の理想です。観光はあくまで活動の一つの「手段」で、観光で来た人がそこを気に入って住むかもしれないし、実際そういう例もありますがそれで理想のまちが実現するかというと非常に難しいし、一時的な現象かとも思います。しかし、商業施設など何もないのにそのような活動をしているところはとても多く、ほとんどの場合、成功してはいません。しかし、そのことに関わらず、なぜ同じような活動が多く地域で行われているのか、まず調べてみるというのが私たちの仕事です。また、どういう結果になったかを追跡することが一番大事です。実際に動いている人たちも、この活動で理想のまちに結びつくと思っている人は多くはないでしょうし、他に手段が思いつかないので活動していることもあるでしょう。ただ、人口は増えないけれど、活動している人たちは盛り上がっているということはあります。観光以外で地域の環境・文化遺産の保護や、防災訓練など自主防災の強化で活性化を図って盛り上がっているところもあります。しかし、このことが理想のまちの実現になっているかどうかは評価が分かれるところだと思います。

新) 観光でのまちづくりと並行して、定住すれば固定資産税を免除するなど、住みたくなるような行政主導の誘致活動をする必要もあると思うのですが。

山) 国で政策ができればどこの市町村もいっせいに同じことをしはじめます。税金優遇の企業誘致、空き家対策などありますが、成功しているという話は聞いたことがありません。ただ、地域の自発的な活動が注目されて、市等から補助をもらうようになって活動が高まるケースは多いです。例えば隠岐の島は世界ジオパークの日本代表候補に選ばれましたが、最初は少人数の住民と役場の職員の有志がフリーマー



ケットを始めたことがきっかけで、小さな成功を積み重ねることで活動が盛り上がっていきました。企業のイオンもジオパークの保全に企業イメージアップを兼ねて WAON カードの売上げ数パーセントを NPO 団体に助成金として交付する仕組みも作られています。徳島県の東みよし町では国の特別天然記念物の巨大クスノキをシンボルとして祭りをおこしたりして活動が高まっています。しかし、まちづくりの活動の多くは、担い手である一部の人たちは盛り上がっているのですが、住民のすべてが積極的に参加しているわけではありませんし、関心がない人も多いと思います。経済が活性化したとか人口が増えたというのは難しいと

ころなので、まちの活性化として成功とみるかどうかは、これもやはり評価が分かれると思います。日本全体の人口減少がしばらく続くなか、人口が減っていきやすい地域に人を増やすというのはどうしても難しくなります。

船坂のビエンナーレのようなアートによる町おこしでは、芸術家を招いて町に住んでもらい作品制作してもらい、アーティスト・イン・レジデンスという企画を徳島県の神山町が行っています。神山町は、人口減少率の下降線を少しでもなだらかにすることでまちを持続させていこうとする「創造的過疎」という面白い考え方で活動しています。例えば街道沿いに空き家があれば、誰でも何でもいいから空き家にきてもらうのではなく、例えばパン屋など生活に必要な業種で、自分たちが望む職種の意欲ある人を選んでいきます。役場が委託して地元の団体が入居者を決定しています。その店が評判になればまた人が集まってくるの考えもあります。先のアート企画も最初はお金を出して芸術家を招いていましたが、今では向こうからお金を払ってまで展示するようになりました。かなり山奥の町なのにここまで活動できているのは「人の力」がとても大きくて、最後はやっぱり「人」だなと強く感じます。(次号に続く)

〔有馬への途中、船坂村に茶店あり、「杵兵衛」という、旅人に知られたる居酒屋なり。有馬まで一里、山中過ぎて都の嵐山の景あり、言語にのべがたし〕と【摂州名所荒増巡覧】に書かれているようで、旅人はこの茶屋で一服するのが常でした。

この茶屋に毎晩酒を買いにくるおじいさんがありました。山の方から一升とつくりを下げに来るのです。ある雨のしよぼしよぼ降る夕方、杵兵衛じいさんがついて行きますと、一升とつくりを下げたおじいさんが途中で狸になりました。

杵兵衛じいさんはびっくりして、家に帰るや布団をかぶって寝てしまいました。そして、おかみさんに「明日、おじいさんが来ても、酒を売るな」といいました。



翌晩、その狸が酒を買いにきますと「狸にはよう売らん」というと、「酒を飲まんかったら生きていけません。なんとか酒を飲ませて下さい。お金は払います。」「木の葉で人を騙そうと思っとるやろ。」とじいさんが言うと、「いや、これは本物のお金です。」「そしたら、どこから取ってきたんや。」「お地蔵さんからもろたんや。」「嘘をいうな。取ってきたんやろ。」という、「いや、ちがう、ほんまにもろたんや、わしは、酒を飲まんかったら命がなくなる。わしの年はな、百八十歳なんや。」と言ったので、じいさんはかわいそうになり「それやったら、売ってやる」と狸は大変喜びました。

「しかしなあ、これっきり来るなよ。そのかわりにこの酒ただでやる。樽ごとやる。大きな樽をやるからこれから来てくれるな。」「その樽やったら四日程したらなくなるな。」と狸は悲しそうな顔をして帰って行きました。

それから四日目の朝、杵兵衛じいさんが表の戸を開けたら、狸が樽を抱えて死んでおりました。杵兵衛じいさんは哀れに思い、その狸を懇ろに葬ったそうです。

(挿絵:平井ちる子)

琴・尺八コンサート

3月3日(土)午後6時

¥3000~3500

演奏:片岡 りさ(若手トップ奏者)



要: 電話予約

Tel: 078-903-1172



ガレージ&カフェ ペニーレーン

〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206

TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-2340

http://www.penny-lane.jp/



株式会社 キューコーポレーション

〒665-0051 宝塚市高司1-1-16ホワイトプラザ2F

TEL: 0797-73-0041 MOBILE: 090-3999-0041

FAX: 0797-73-4100 E-mail: cue41@nifty.com

代表取締役 植松 稔晶

### 一羊園竣工にあたり

船坂多目的グランド横に建設中の一羊園が1月末に竣工を迎え、2月の中旬には引越をして新しい生活を始める予定です。

新しい建物での生活には楽しみとともに不安もありますが、移転先が住み慣れた“船坂”の地であることは嬉しいかぎりです。

これからも、地域の皆さんに支えていただきながら、知的にしょうがいのある方たちの生活の場・活動の場として“船坂”にある“一羊園”でありたいと思っています。

よろしくお願ひいたします。

(一羊園 栗林和徳)



### 船坂コミュニティセンターからのお知らせ

#### ランチ・カフェの日が変更となります。

1月屋根のお色直しをしていたランチルーム棟も足場もとれきれいになりました。

コミュニティルーム(ランチルーム)でのランチ・カフェ・歌声・映画会が2月より少しかわります。今まで毎週日曜日にしてきたイベントが第2・4日曜日となります。お間違えのないようにお越してください。

- 2月 12日(日) 12:00 ランチ @300円
- 13:30 歌声・カフェ @200円(飲み物代)
- 2月 26日(日) 12:00 蕎麦ランチ @500円
- 13:30 映画会・カフェ @200円(飲み物代)

※上映映画「阪急電車」(予定)

歌声が3月より先生のご都合により奇数月となります。

#### 平成24年度管理ボランティア募集

平成24年度も市から管理委託を受ける予定です。そこで、4月からの管理ボランティア(有償)を追加募集します。(23年度から継続される方は、申込みの必要はありません)

・希望者は、2月末までに「氏名、電話、希望曜日と午前か午後か」をコミセン(水金土日の9:00~16:00)へご連絡ください。

コミセン: TEL904-1971

FAX904-1972

(旧船坂小学校管理運営委員会)

calendar(2/11~3/11)

2/11	12	13	14	15	~	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	3/1	2	3	4	~	9	10	11	船坂のサークル活動		
土	日	月	火	水		日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		金	土	日			
自治会定例会	ランチ・歌声カフェ		陶芸クラブ			船坂里山芸術祭委員会	船坂新聞編集委員会	陶芸クラブ					たんぼ映画&ランチ			たんぼ読み聞かせ			ベルグコンサート				自治会定例会	ランチ・歌声カフェ		バレーボール	水 19:30
																										グランドゴルフ	水・金 13:30
																										テニス	水・土・日 9:00
																										ヨガ	月 10:00
																											火 19:30
																										ゴルフ	年3~4回

関学の山先生が船坂に住むきっかけがAliceでの食事とお聞きしうれい限りです。幼児のいる家庭の大半は、最近船坂に生まれた方です。ピエンナーレや本紙を通じて、新旧住民の交流が深まることを望みます。(八濱雅彦)

編集者のつぶやき



口から出る言葉は寒いって言いながら2月も半ば、毎朝我が家の愛犬(むぎ)のさんぽに白い息をはきながら頑張って歩いています。冬でも自然は毎日違う顔を見せてくれます。真っ白の畑や氷の張っている水溜りそんな自然を感じながら春よ来いはやく来い♪と思っています。(黒木富美子)

知る人ぞ知る隠れ家レストラン



癒しの森のガーデンカフェレストラン Alice  
〒651-1423 西宮市山口町船坂1626  
TEL078(904)2603  
パースデーケーキをお宅までお届けします。  
(山口町内 無料配達いたします。)

創業昭和八年

北福豊店

西宮市山口町船坂702

TEL 078-904-2660



西洋料理/船坂

西宮市山口町船坂字北谷216番地  
Tel/Fax078-903-1158